

二〇一九年度・イベントの案内

関西詩人協会 創設25周年の集い

日時 9月8日(日)

午後1時30分～4時30分(開場1時)

会場 ドーンセンター 4階 大会議室I

会費 1000円

プログラム

開会挨拶 関西詩人協会・代表 左子真由美

第一部 対談「現代詩の現状と展望」

高階杞一氏・山田兼士氏

第二部 夢童子コンサート

「こんにちはまにさしあげそうろう」作 森はな

「子育てゆうれい」民話

第三部 歌唱 田村かよ子 朗読 内部恵子

未来を切り開く詩の朗読

朗読文化の会【あい】

第四部 五行詩の朗読

*当日、会場設置の準備のため、運営委員は午後1時に集合してください。

《退会》

風雅

佐藤勝太 3月23日逝去

《今後の予定》

詩の実作講座

7月27日(土) 第447回 午後6時～9時「睡眠時に

見る夢と詩作」講師 藤谷恵一郎

8月はお休みです。

9月28日(土) 第448回 午後6時～9時「クイーン

(Queen)の詩(うた) ボヘミアン・ラプソディなど」

講師 寺沢京子

10月26日(土) 第449回 午後6時～9時 実作(そ

の場で題を決めて詩を作ります)

詩を朗読する詩人の会『風』例会

(場所・連絡先は前回の会報に同じです。)

7月21日(日) 第506回 ゲスト山田兼士さん

8月はお休みです。

9月15日(日) 第507回 ゲスト以倉紘平さん

朗読文化の会・あい

毎月第一・第三火曜日 午後2時から朗読練習をし

ています

場所 新大阪・ココプラザ

問合せは田村照視まで 075-314-6449

第26回関西詩人協会総会は11月17日(日)を予定しています。皆様空けておいて下さいね。詳細は次号に。

《会員の最新刊詩書》(紹介文・山田兼士)

水崎野里子詩集『愛のブランコ』(竹林館)

故・佐藤勝太詩集『昔がたり 夢がたり』(竹林館)

1932年生れのベテラン詩人による第17詩集75篇。

すべて見開き2ページの平易かつ素朴な言葉で紡がれた

作品群。現在の生活のこと、戦時中のこと、故郷の

こと、忘れられない人々など、自然体でゆったり描か

れた情景はどれも懐かしくしかも同時に新しい。

船曳秀隆『光を食べてよと囁く蜚鳥賊』(朝日カルチ

ャーセンター)

村田辰夫『F・H/ブラッドリー金言・賛』(日本国際

詩人協会)

中尾彰秀 『ピアノインプロヴィゼーションCD』(二〇

一九、一、十三)「再びのタイムトラベル」「並行宇宙

(森羅通信の会)

山田兼士詩集『羽の音が告げたこと』(砂子屋書房)

山田兼士詩集『孫の手詩集』(滯標)

運営委員会の模様

日時…2019年6月8日(土) 13:30～17:00

場所…大阪国労会館会議室 出席者 17名

議事進行(北村)

入退会

入会5名(奈木丈、河合真規子、森田好子、吉川悦子、

宮崎陽子)退会なし 永年会員(大倉元)

会計報告 自選詩集の参加費用收受一覧について。10

月より郵便局から振り込み通知がなくなることにっ

いて。

ホームページの周知を。三ヶ月一回の今までと同じや

り方で会員の詩、会員エッセイを順に廻していく。

年間行事について

文学散歩 会報記事の通り。中之坊住職の話に心を打

たれた。中将姫のゆかりの場所で「死者の書」の朗

読は雰囲気に合わせてよかった。

詩話会 収容人数70名の部屋で出席33名と少なかった。

(昨年度は22名) 執行部全体の盛り上がりにより少し欠

けていた感があった。

詩画展 出品者同士の感想の述べ合う場があってもよ

かったのでは。会場の地の利が少し悪かった。詩話

会と搬出準備が重なってしまったため係の人に負担

をかけた。

2019 関西詩人協会 冬の詩画展企画について

詩画展・詩話会の決定事項

1、詩話会の中に詩画展出品作品の合評的なものを

盛り込む。2、作品の搬出搬入は、原則として各自

が責任を持って行う。3、当日の当番にも協力を。

25周年イベントについて 会報の通り。

自選詩集 締め切りを1か月延長 その間参加希望者

を更に募っていく

兵庫現代詩協会と関西詩人協会初の交流会

会報記事の通り。

(書記 高丸)

《新入会員》

豊川義明

530-0047

大阪北区西天満5-16-3

西天満ファイブビル301号C&L法律事務所

和歌山で生まれ東大阪市で育ちました。

亡くなられた佐古さんとの縁で入会致しました。

仕事は弁護士と大学の教員をしています。

小松原恵子

573-0085

枚方市香里園東之町21-35

詩画展に出してみませんかのお誘いは、今まで想像し

たことのない世界でした。自然の佇まいに感動し風景を

描く楽しさに加え、それを言葉で表

現する。なんて素敵なことだろうと

思いました。詩画展をきっかけに詩

作に励み、未知なものにもチャレン

ジしたいと思います。どうぞよろし

くお願いします。

にしもとめぐみ

664-0001

伊丹市荒牧1-18-15

みなさま、こんにちは。にしもとめぐみです。

詩を書き始めたのは(詩と意識してではなく、言葉を

つらねていたのは、中学生か、高校生くらいでしょうか)

高校の時のわゆる恋愛詩のようなものを緑色のノートに

書いていたら、「見せて、見せて」とクラス中を回り、帰

って来なかった。もしかしたらあれが第一詩集。文学学

校で「生詩人」にお会いしたのは、貞久秀紀さんが最初

でした。それから山田兼士さん、細見和之さん、金時鐘

さんなど多数の師に師事して来ました。今は三ノ宮の「め

らんじゅ」で詩を書いています。好きな詩人は中原中也、

フランス詩、プレヴェール、ヴェルレーヌ……。ボチボ

チフランス語も勉強しています。よろしくお願いします。

奈木 文 639-1039 奈良県大和郡山市椎木町 14-12

森田好子 567-0893 茨木市玉瀬町 34-15-3

吉川悦子 570-0071 守口市祝町 7-6

河合真規子 570-0083 守口市京阪本通 1-10-2-1107

宮崎陽子 572-0002 寝屋川市成田東が丘 25-24

《新入会員の作品》

故郷(母)の海

豊川義明

海が呼んでいる

確かに私を呼んでいる

海はひと夏の友達

波音は私の心の音

心が昂まれば波も高まる

心が治まれば波も平らに

海は生命体(いのち)

落とし物

小松原恵子

真夜中 駅へと急ぐ

遠くに小さなあかり

息があがり 弾む足取り

後ろからの気配だんだんと近づいてくる

脈が早まり 身体中が一気に駅へと急ぐ

風のささやき 生あたたかい空気

あれはなんだ

遠くから 近づいてくる

背中を迫ってくる

私めがけて

駅へと急ぐ道 走る私

私を追って 走って来る

魔性の手が すぐそこに

鼓動が高鳴る

これは

あなたの物ですか

森

にしもとめぐみ

木々はいつのまにか

生い茂ってしまふ

あなたを包むように

土はいつから繰り返

あり続けたのか

柔らかく重なり続ける

その幹のまわり

その枝の広がり

心を休ませて

小さな花々を散りばめる

風を受けて花びらを揺らすハンカチノキ

高くそびえるヤマナシ

ヤドリギが緑を照らす冬枯れの日に

命のさいはひ 私はあなたを孕むだろう

小道を歩いて行く

こどもたちの声が流れる

どこまでも どこまでも

僕たち一緒に進んで行かう

《住所変更》

中地 中 270-2231 千葉県松戸市五香2-25-24
 たひらこうそう 569-0056 高槻市城南町2丁目45-10 田平方
 上村多恵子 604-8006 京都市中京区河原町通三条
 上ル下丸太町403FISビル803 京南倉庫株式会社

〈アドレス変更〉 榊次郎 hanohana114@osaka.zaq.jp

《会員の活動》

左子真由美氏 3月21日、京都音楽サークル協議会のコンクールにおいて詩部門の審査員を務める。3月31日、キャッスルホテル大阪において全国生活語詩の会主催(代表有馬敏)『現代生活語詩集2018老・若・男・女』出版記念大朗読会を会副代表永井ますみ氏と共に開催。

村田辰夫氏 『戦争証言映像、2018』(平成31年(2019)、滋賀県平和祈念館発行)
 講演：2019年8月14日(木)、午後2時から2時間。渡来人歴史館。「少年兵の戦争従軍体験特別講演」(入場無料)

戸田和樹氏 第二回徒然草エッセイ大賞を「教師への旅立ち」で受賞。

正岡洋夫氏 6月1日、あべのポランティアアセンタにて「季刊大阪春秋176」特集・長沖一のための鼎談「息子たちが語る素顔の長沖一」に講演者の一人として参加。

村上うさぎ氏 4・14こ息翼さんの13回忌の絵画展「空飛ぶつばさ展」に於けるポエムリーディングをユーチューブにアップしている「村上うさぎポエムリーディング」で検索できる。

中尾彰秀氏 6月9日、第2回「ポエムテラ小屋」和

歌山市和歌浦「百姓家族」出演・武西良和、中尾彰秀、他。

安森ソノ子氏 4月21日PM2時よりラジオFM79.7にて3月16日のひまわり船上で「リヴィエール合同出版会」の思い出を放送。6月2日PM2時より同じくFM79.7にて「友禅染」を放送。

山田兼士氏 大阪府南河内郡河南町に創設された「かなん桜小学校」校歌を作詞(作曲は田中久美子・大阪芸術大学教授)、四月五日に開校式で子供たちがお披露目した。

詩誌リヴィエール 3月16日、大阪天満橋・大川の「ひまわり号」船上で、永井ますみの『万葉創詩―いや重け吉事』、『万葉かたり―古代ブローガー家持の夢』二冊、市原礼子の『すべては一匹の猫からはじまった』、石村勇二の『精神病とその周辺―統合失調症と歩む』の三人四冊の合同出版会を行い、関西詩人協会会員を始めとした39名の方々に祝って戴いた。

《会員発行の詩誌》

CY PRESS 23号	岸田裕史個人誌
K A I G A 110号	原口健次
M o s t a r 53号	香山雅代
P O 173号	左子真由美
Aリゼ190号	以倉紘平
異郷48号	村上久雄
風の音18号	野口幸雄
伽羅19号	吉田定一
銀河詩手帖293号	近藤摩耶
現代詩神戸265号	永井ますみ
呼吸146号	司 由衣
沙羅33号	以倉紘平
軸131号	原 圭治
新燎原30号	小林尹夫

憧憬3月号 三浦千賀子
 ばらいろ爪14号 北原千代
 100円詩集 5号 熊井三郎
 風鐸9号 司 茜
 別冊關學文藝 松村信人
 ラヴィーン206号 牧田久末
 リヴィエール164号 横田英子

《団体の会報・図書》

いちご通信23号 大分県詩人連盟
 茨城県詩人協会会報27号
 大分県詩人協会会報153
 O C O S 221号 大阪文化団体連合会
 群馬詩人クラブ会報 309
 現代詩2019 日本現代詩人会
 高知詩の会通信 20号
 埼玉詩人会会報89号
 皿 岩手県詩人クラブ第94号
 詩界通信86号 日本詩人クラブ
 しずおかの詩136号 静岡県詩人会会報
 静岡県詩集2018第26集創立六十周年記念号
 島根詩人連合会会報86号
 島根年刊詩集47集島根県詩人連合
 中四国詩人会ニューズレター45号
 とっとり詩人39号鳥取県現代詩人協会
 日本詩歌句協会会報32号・33号
 日本現代詩人会会報154
 福井県詩人懇話会会報100号
 福井県詩人会会報173号
 北海道詩人146号
 山形詩人会会報34号
 やまがた現代詩の流れ2018 やまがた文学祭実行委員会

関西詩人協会会報 第94号 発行者 左子真由美

関西詩人協会事務局 〒651-1213 神戸市北区広陵町1-28 石井方
 編集担当者のメールアドレス cyk00670@nifty.com 山田兼士

永井ますみ Tel/Fax 078-581-9582

次号原稿締切は八月末日です